



うお祭りです。
りになるとい
る旧荒高神社
(通称森さま)
の神様がお神
輿によつて荒
高地区にお帰
りになるとい
うお祭りです。



野口県立大学
准教授
シャルコフ・
ロバート

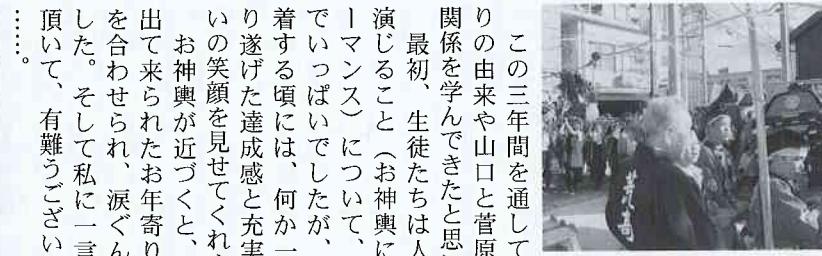


森さま祭りに参加して

「森さま祭りの女みこしに、野田



また、来
年もお神輿
を通してお
祭りを盛り
上げていき
ます。あの
お年寄りの
笑顔のため
に。



境内撮影
八柱神社

神社名	旧鎮座地
大歳神社	(上天花町内会)
春日神社	(八幡馬場町内会)
荒高神社	(中市町内会)
恵比寿神社	(西糸米自治会)
大歳神社	(道祖町内会)
道祖神社	(諸願小路町内会)
恵比寿神社	(天神通り町内会)
杵築神社	



当宮の氏子区域内にはかつて多くの神社が存在していましたが、地域社会の発展につながるとして、八幡馬場町内の守護である春日神社が移設されました。

境内撮影 八柱神社

学園も参加

しよう」。

こんな掛け

声で始まつ

た祭りの参

加も、早い

もので三回

目を迎えて

ました。

この三年間を通じて、森さま祭

りの由来や山口と菅原道真公との

関係を学んできたと思いません。

最初生徒たちは人前で何かを

演じること(お神輿によるパフォ

ーマンス)について、恥ずかしさ

でいっぱいでしたが、

お神輿が近づくと、玄関先まで

出て来られたお年寄りが静かに手

を合わせられ、涙ぐんでおられま

した。そして私に一言「復活して

頂いて、有難うございました」と

「二人が出会うと祭りが始まる」という話を聞いたことがあります。定かではありませんが、今では事に当たっての町内の結束を強める大きな原動力になっています。最近は山県立大学や野田学園高校、そして地域の子どもたちなど若い人たちが参加してくれるようになり、祭りは活気に満ち、益々賑わいを見せるようになりました。町内のお年寄りが神輿に手を合わせて涙を流している姿を目の当たりにして、思わず感激してもらい泣きしてしまったという女子学生の話を聞くと、祭りの本来あるべき姿が見えてくるような気がします。

「二人が出会うと祭りが始まる」という話を聞いたことがあります。年に一度の無事を共に祈願し、再会を誓い合う。ひょっとして荒高のもりさま祭りもこうして始まつたのかも知れません。

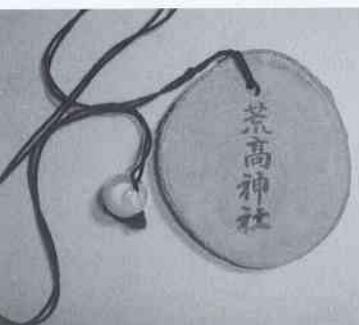
もりさま祭り 実行委員長 福田 敏彦



お神輿を奉安した御仮屋で参拝します



延べ130名を超す参加者



奉仕者手作りの「木ふだお守り」



細長く情緒ある長寿寺の参道



模擬店の賑わい

荒高神社例祭 森さま祭り斎行

もりさま祭り 実行委員長 福田 敏彦

八柱神社に合祀されている荒高神社の例祭が、毎年恒例の九月一日に今年も盛大に行われました。

実行委員会を中心に荒高町内会、

県立大学、野田学園高等学校など

多くの人により運営されるこの祭

礼は、今や町内会の祭りという規

模を超えて「山口の祭り」と称さ

れる優れた成果と振興を地域にも

たらしています。

「祭り」を通して一体感を掴み、その過程において親睦を深めると、ということは人と人との絆を強化する絆を図り、絆を強くする絆の機会であり、長い歴史の中で我々の祖先が見出した叡智として今に繋いできた祭り文化の本質ですが、ここではこれを見事に体現されておられます。

当日は、この祭りの評判を聞いて駆けつけた多くのマスコミが取材に訪れたほか、全国紙でも紹介されるなど、伝統神事を大切に継承して来られた荒高町内会の人々の地道な努力は立派に开花しており、このように秀逸な祭礼文化を展開されていることを誇り高く思っています。